

履修計画の作成

1 履修計画の作成

大学においては、一定の制限に沿って、学生自身が授業科目を選択し履修計画を作成することになっている。授業科目の選択に当たっては、自分の好きな科目を自由に選択するのではなく、学科の特色や特性、将来の進路、自分の個性などを考慮しながら系統的に選択し学習する必要がある。

本学の教育課程は、教育目標を実現するための教育内容によりいくつかに分けられており、履修上の分類として、卒業するために必ず修得しなければならない必修科目、指定された授業科目群の中から選択して修得する選択科目に分けられている。

学生諸君は、卒業するまでの4年間に、一定の制限に沿って受講する授業科目を選択し、年次計画を立て、履修計画を作成する必要がある。

2 履修計画の具体例

具体的な履修計画の作成に当たって留意すべきことは以下の通りである。

- (1) 1年次は、教養・基礎教育科目を中心に履修計画を作成すること。
- (2) 必修科目は、所定の受講年次で履修するように計画すること。
- (3) 選択科目は、特定の授業科目の区分に偏らないようにすること。

3 資格取得に向けての履修計画作成

スポーツ健康学科は、資格取得に向けて、2コースを設定し二年次からスタートする。

一年間の学びの中で、自分自身が最も目指している将来像を意識し、コースを選択することが重要である。以下は提供されている2つのコースの特徴である。

1) スポーツ領域

スポーツパフォーマンスの向上、アスリートの養成、ハイレベルな指導者の養成を目差すために必要なスポーツ科学、マネジメントを学ぶ。科学的なスポーツ理論・実践を通じて専門的知識をあらゆる角度から習得し、学識豊かなスポーツ指導者の育成を目指すコース。

2) 健康領域

ヘルスプロモーション、養護、福祉などを通じて、個々ならびに社会全体のウェルネスを向上させるための理論と方法論を学ぶ。ウェルネス系科目を基礎とし、身体機能、健康運動支援や疾病予防、健康長寿など、学際的な支援をもって健康を支援する人材の育成を目指すコース。

3) コース選択時の留意点

- ①コースによって科目登録の出来ない科目がある。
- ②次ページ以降の履修計画を参考に、独自の履修計画を作成すること。
- ③履修計画や時間割の作成方法については、新入生オリエンテーションで説明するが、わからないことあれば、指導教員や年次担当教員、ウェルナビ学生に相談すること。
- ④履修計画をうまく立てないと充実した学生生活を過ごすことが出来ないだけでなく、4年間で卒業できない場合もある。